



ボランティアセンターだより

2021年9月 No. 154号

市地区
公民館

「サマーキッズチャレンジ」にお邪魔してきました



まだまだ暑い日が続く毎日です！「この暑さを吹き飛ばしてくれるような活動はないかな～」と探していたところ、何やらボランティアさんが大活躍しそう!?なイベントを見つけたので、お邪魔してきました～🌻🌻

夏休み期間に市地区公民館で開催された「サマーキッズチャレンジ」は市地区の子どもたちを対象に、『手話体験』『子ども囲碁』などが開催されました。講師は、地元のボランティアグループなどが務め、子どもたちと交流しながら楽しい時間を過ごしていました🎵子どもたちもなかなか出かけられない中、いい思い出ができたようです🍉💕



手話サークル三原
による手話教室



※残念ながら緊急事態宣言発令のため、後半の講座は中止となりました。

コロナの影響でなかなかボランティア活動も難しいですが、みなさん対策や工夫をしながら活動をされているようでした(^_^)もうしばらくはこの状況が続きそうですが、「今できること」を社協も一緒に考えていけたらと思います😊



パラリンピックの聖火リレーの「採火式」がありました



パラリンピックの聖火は日本各地の火を集めたそうです。南あわじ市からは若人の広場の「永遠の灯」が届けられました。パラリンピックでも日本の活躍に期待したいですね☆彡



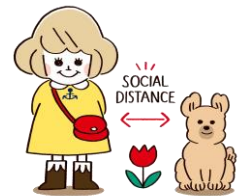
感染症対策を徹底しましょう！



マスク



手洗い



ソーシャルディスタンス

改めて一人ひとりが、感染予防のためにできることをして、力を合わせてこの危機を乗り越えましょう!! 早い収束を願います(;_;)



大事にしたい 淡路弁



閉める。

例) そこの戸たっというて～

(そこの戸を閉めというて～)

島外の人が聞くと、ドアの前に立っているとか…(^-^);

「たっ」

発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL : 44 - 3007 FAX : 44 - 3037
MAIL : info@minamiawaji-shakyo.or.jp





40周年

ボランティアグループ

『ひこばえグループ』



「ひこばえグループは」、昭和57年3月に結成され、同年4月より活動を開始されました。メンバーは、南あわじ市内から集まった50代～80代の13人の有志。主に市の広報をカセットテープに録音し、「声の広報」として目の不自由な方や福祉施設へお届けしています。今年で結成40周年を迎えた、グループのみなさまに取材をさせていただきました。

●活動はどんな風になっているの？

活動場所である市小学校の録音室(音楽室)で録音作業が行われています。毎月1日に市広報が発行されるため、発行日と同時に「声の広報」をリスナーへお届けできるよう、事前に原稿を預かり、録音を行っています。



●みなさんの活動に対する想い...

どんなに忙しくても、社会や誰かのためになる活動がしたい!

ボランティア活動を続けられたのは家族の理解があったからこそ

相手の顔が見えない活動なのでリスナーからの「ありがとう」の声が一番うれしい!

ここまで長く続けることができた一番の理由は、メンバーみんなが仲良くできたからだと感じます

グループのみなさんからの想いをお聞きし、メンバー同士の仲が良く、活動(社会参加)を通して心の豊かさや生きがいを感じられること、リスナーからの感謝の言葉、家族からの応援や理解を得られたことが、長く活動を継続できた秘訣であることが分かりました。



●過去にはグループ解散の危機も!?

40年の歴史の中には、グループ解散の危機もあったそうです。平成の大合併(旧4町合併)に伴い、旧4町ごとにあった広報が1本化。同時にグループの解散の話が出たそうです。しかし「みんなに会えなくなるのは寂しい」とメンバー内から多くの声があがり、メンバーの強い絆により活動を継続することになったそうです。

●今後の活動について

活動の場を提供していただいている市小学校に恩返しができればという思いから、午前中に児童へ「本や絵本の読み聞かせ」も行っています。読み聞かせでは児童の表情や反応を直接みることができ、児童とつながりができるという魅力があるそうです。これからも「声の広報」や「読み聞かせ」を継続し、活動を通じてメンバーや地域の方々とのつながりをどんどん広めていきたいそうです。



これからもグループの『声』が地域の方々の耳と心に届けられることでしょう。